



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月6日

上場会社名 住友大阪セメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5232 URL <https://www.soc.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 諸橋 央典
 問合せ先責任者(役職名) 企画部長 (氏名) 今井 知足 (TEL) 03-6370-2725
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	53,225	0.9	1,263	894.1	1,982	45.4	686	△86.8
2024年3月期第1四半期	52,766	16.0	127	—	1,363	—	5,183	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,131百万円(△74.2%) 2024年3月期第1四半期 4,384百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	20.17	—
2024年3月期第1四半期	151.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	358,621	193,263	53.2
2024年3月期	356,283	196,775	54.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 190,849百万円 2024年3月期 194,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,820	1.9	3,600	95.9	3,700	38.3	2,400	△59.2	71.51
通期	229,550	3.2	11,100	53.1	11,300	33.3	10,300	△32.9	310.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	34,329,517株	2024年3月期	34,329,517株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	731,117株	2024年3月期	81,351株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	34,015,579株	2024年3月期1Q	34,252,745株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に基づく記述には、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 連結セグメント損益(期間比較)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(2024年4～6月)におけるわが国経済は、物価上昇の影響がみられたものの、雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直しや政府の経済対策等の効果もあり、緩やかな回復が続きました。

セメント業界におきましては、人手不足や建設コストの上昇、働き方改革の影響等により官公需、民需ともに減少したことから、セメント国内需要は前年同期を4.8%下回る8,166千tとなりました。一方、輸出は前年同期を34.0%上回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前年同期を1.0%上回る10,182千tとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、2023年度から「2023—25年度 中期経営計画」をスタートさせており、「既存事業収益改善」として、セメント事業収益力回復、次世代光通信部品の市場シェア獲得による収益改善、「成長基盤構築」として、半導体製造装置向け電子材料事業へのリソース集中投入による規模拡大・収益力強化、海外事業拡大(豪州事業)、脱炭素分野の新規事業開発、「経営基盤強化」として、人材戦略、研究開発戦略、知財戦略、DX戦略に係る諸施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、53,225百万円と前年同期に比べ459百万円の増収、経常利益は1,982百万円と前年同期に比べ619百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、686百万円と前年同期に比べ4,497百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

当第1四半期連結累計期間より、当社の子会社である千代田エンジニアリング(株)において、報告セグメントの区分を「その他」から「セメント」に変更しております。

なお、以下の前年同期比については、変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較をしております。

1 セメント

販売数量が前年同期を下回ったものの、コストアップに対応した国内販売価格の値上げを実施したことなどから、売上高は、38,481百万円と前年同期に比べ863百万円(2.3%)増となり、損益は、前年同期に比べ1,696百万円の好転となったものの、372百万円の営業損失となりました。

2 鉱産品

海外鉄鋼向け石灰石の販売数量が増加したことなどから、売上高は、4,341百万円と前年同期に比べ842百万円(24.1%)増となり、営業利益は、841百万円と前年同期に比べ132百万円(18.7%)増となりました。

3 建材

コンクリート構造物補修・補強材の販売数量が増加したことなどから、売上高は、5,448百万円と前年同期に比べ632百万円(13.1%)増となり、営業利益は、196百万円と前年同期に比べ79百万円(67.2%)増となりました。

4 光電子

光電子機器の販売数量が増加したことから、売上高は、601百万円と前年同期に比べ108百万円(22.1%)増となったものの、生産コストが増加したことなどにより、損益は、151百万円の営業損失と前年同期に比べ68百万円の悪化となりました。

5 新材料

半導体製造装置向け電子材料の販売数量が減少したことなどから、売上高は、3,427百万円と前年同期に比べ1,985百万円(36.7%)減となり、営業利益は、382百万円と前年同期に比べ592百万円(60.7%)減となりました。

6 その他

売上高は、925百万円と前年同期に比べ1百万円（0.2%）減となったものの、ソフトウェアの販売が増加したことなどにより、営業利益は、414百万円と前年同期に比べ17百万円（4.4%）増となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、358,621百万円と前連結会計年度末と比較して2,337百万円増加しました。増減の主なものは、電子記録債権の増加725百万円、有形固定資産の増加1,167百万円です。

負債は、165,358百万円と前連結会計年度末と比較して5,849百万円増加しました。増減の主なものは、商業・ペーパーの増加9,000百万円、未払法人税等の減少2,408百万円です。

純資産は、193,263百万円と前連結会計年度末と比較して3,511百万円減少しました。増減の主なものは、利益剰余金の減少1,371百万円、自己株式の取得による減少2,518百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

2024年5月14日発表の連結業績予想については、変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,724	16,716
受取手形、売掛金及び契約資産	43,334	42,942
電子記録債権	8,829	9,554
商品及び製品	11,721	12,335
仕掛品	94	293
原材料及び貯蔵品	23,771	24,092
短期貸付金	380	404
その他	2,334	3,276
貸倒引当金	△38	△40
流動資産合計	109,155	109,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	180,341	182,428
減価償却累計額	△130,629	△131,427
建物及び構築物（純額）	49,712	51,000
機械装置及び運搬具	492,651	496,229
減価償却累計額	△428,582	△431,543
機械装置及び運搬具（純額）	64,068	64,686
土地	39,084	39,084
建設仮勘定	12,962	11,890
その他	39,949	40,506
減価償却累計額	△21,279	△21,501
その他（純額）	18,669	19,004
有形固定資産合計	184,499	185,666
無形固定資産		
のれん	63	55
その他	3,580	3,452
無形固定資産合計	3,643	3,507
投資その他の資産		
投資有価証券	44,850	45,394
長期貸付金	4,531	4,793
繰延税金資産	994	976
退職給付に係る資産	3,803	3,833
その他	4,927	4,957
貸倒引当金	△121	△83
投資その他の資産合計	58,985	59,871
固定資産合計	247,128	249,045
資産合計	356,283	358,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,801	31,501
電子記録債務	2,828	3,480
短期借入金	25,273	25,592
コマーシャル・ペーパー	—	9,000
1年内返済予定の長期借入金	8,228	8,251
未払法人税等	3,032	623
賞与引当金	2,538	1,513
その他	16,639	14,200
流動負債合計	89,342	94,163
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	26,027	26,314
繰延税金負債	9,570	10,367
役員退職慰労引当金	122	116
PCB廃棄物処理費用引当金	2	2
退職給付に係る負債	922	926
株式給付引当金	65	73
資産除去債務	258	259
その他	13,196	13,134
固定負債合計	70,166	71,195
負債合計	159,508	165,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,654	41,654
資本剰余金	10,488	10,488
利益剰余金	119,016	117,645
自己株式	△311	△2,830
株主資本合計	170,847	166,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,702	22,059
為替換算調整勘定	345	415
退職給付に係る調整累計額	1,450	1,417
その他の包括利益累計額合計	23,498	23,892
非支配株主持分	2,430	2,413
純資産合計	196,775	193,263
負債純資産合計	356,283	358,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	52,766	53,225
売上原価	43,083	41,772
売上総利益	9,682	11,453
販売費及び一般管理費	9,555	10,189
営業利益	127	1,263
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	513	541
為替差益	682	348
持分法による投資利益	—	8
受取賃貸料	31	44
その他	416	147
営業外収益合計	1,664	1,121
営業外費用		
支払利息	231	232
持分法による投資損失	33	—
その他	162	169
営業外費用合計	428	402
経常利益	1,363	1,982
特別利益		
固定資産売却益	1	34
投資有価証券売却益	4,241	—
特別利益合計	4,243	34
特別損失		
固定資産除却損	163	175
特別損失合計	163	175
税金等調整前四半期純利益	5,443	1,841
法人税、住民税及び事業税	809	432
法人税等調整額	△607	671
法人税等合計	202	1,104
四半期純利益	5,240	737
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,183	686

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	5,240	737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△846	355
為替換算調整勘定	△31	54
退職給付に係る調整額	19	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	2	16
その他の包括利益合計	△856	394
四半期包括利益	4,384	1,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,327	1,080
非支配株主に係る四半期包括利益	57	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行ったことなどにより、当第1四半期連結累計期間においては、自己株式が2,518百万円増加(株主資本の減少)しております。

当第1四半期連結会計期間末の自己株式は2,830百万円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							注1 調整額	注2 四半期連結 損益計算書 計上額
	セメント	鉱産品	建材	光電子	新材料	その他	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	37,617	3,499	4,816	492	5,413	927	52,766	—	52,766
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	827	1,120	477	2	—	1,520	3,948	△3,948	—
計	38,445	4,619	5,293	495	5,413	2,447	56,714	△3,948	52,766
セグメント利益又は損失(△)	△2,069	709	117	△83	974	397	47	79	127

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額79百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント							注1 調整額	注2 四半期連結 損益計算書 計上額
	セメント	鉱産品	建材	光電子	新材料	その他	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	38,481	4,341	5,448	601	3,427	925	53,225	—	53,225
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	922	762	698	—	—	1,231	3,615	△3,615	—
計	39,403	5,104	6,147	601	3,427	2,157	56,840	△3,615	53,225
セグメント利益又は損失(△)	△372	841	196	△151	382	414	1,312	△48	1,263

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△48百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、当社の子会社である千代田エンジニアリング(株)において、報告セグメントの区分を「その他」から「セメント」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	4,937百万円	5,160百万円
のれんの償却額	7	7

3. 補足情報

(1) 連結セグメント損益(期間比較)

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
セメント事業	37,617	38,481	863	2.3
鉱産品事業	3,499	4,341	842	24.1
建材事業	4,816	5,448	632	13.1
光電子事業	492	601	108	22.1
新材料事業	5,413	3,427	△1,985	△36.7
その他事業	927	925	△1	△0.2
外部顧客に対する売上高	52,766	53,225	459	0.9
セメント事業	△2,069	△372	1,696	—
鉱産品事業	709	841	132	18.7
建材事業	117	196	79	67.2
光電子事業	△83	△151	△68	—
新材料事業	974	382	△592	△60.7
その他事業	397	414	17	4.4
調整額	79	△48	△128	—
営業利益	127	1,263	1,136	894.1
営業外収益	1,664	1,121	△543	△32.6
営業外費用	428	402	△25	△6.1
営業外損益	1,236	719	△517	△41.8
経常利益	1,363	1,982	619	45.4
特別利益	4,243	34	△4,209	△99.2
特別損失	163	175	12	7.4
特別損益	4,079	△141	△4,221	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,183	686	△4,497	△86.8